

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、脳神経外科では、東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]

脳動脈瘤塞栓術におけるバルーン付きガイディングカテーテル使用と術中破裂後の転帰との関連

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 教授：石橋 敏寛

本研究に関する問い合わせ先：同上

電話：03-3433-1111（応対可能時間：平日9時～17時）

[利用・提供の対象となる方]

2003年1月1日～2024年12月31日までの間に、当院脳神経外科において頭蓋内動脈瘤に対して脳動脈瘤塞栓術の治療を受けた18歳以上の方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、家族歴、既往歴、生活習慣、発症日、病変の神経放射線学的特徴、疾患に対する治療の詳細、治療合併症の有無とその詳細、退院時および最終受診時の神経学的予後

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究： 無）

脳動脈瘤の患者さんに最適医療を提供することを目指し、脳動脈瘤に対する脳血管内治療時の術中破裂の頻度と、破裂後の転帰およびバルーン付きガイディングカテーテル使用との関連について明らかにすることです。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

日本脳神経血管内治療学会に所属する全国の医療機関

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の許可日より 2027 年 12 月 31 日までの間

提供方法：□直接手渡し ■郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

研究代表機関の倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

責任者：東京女子医科大学 脳神経外科 講師 石川達也

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～17時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 清水 治